

荒天時の走錨等に起因する事故の再発防止に係る
有識者検討会（令和元年度第1回）議事概要

日時：令和元年11月13日（水）9：30～11：30

場所：中央合同庁舎3号館11階海上保安庁会議室

1. 議事

報告 検討会の目的と進め方

検討会報告書（平成31年3月）を踏まえた対策

議題1 今期台風シーズンにおける対応の総括

議題2 次期台風シーズンに向けた取り組み

2. 議事概要

- (1) 事務局等から、検討会の目的と進め方、検討会報告書（平成31年3月）を踏まえて今期台風シーズン中にとられた対策の効果等について報告があった後、当該対策の評価と課題について議論が行われた。
- (2) 次期台風シーズンに向けた取り組みについて事務局等から説明があり、今後の更なる取り組みについても議論が行われた。
- (3) 具体的には、今期台風シーズンにおける対応の総括として、7月に海上保安庁から公表された重要施設周辺海域での対策の状況について、来年度以降も同様の対応でよいかどうか、新たな課題はないか等について議論がなされ、各対策は概ね有効に機能し妥当であったものと評価された。
- (4) 一方、荒天時における船舶側への情報提供等について、海上保安庁からの情報提供や指導の充実強化に加え、会社など組織として、陸側から船舶を管理・支援する体制等についても今後改善すべき点がないか、広く検討すべきとの意見があった。
- (5) また、次期台風シーズンに向けた取り組みについては、走錨事故の防止にかかる船長や運航管理者向けのガイドラインについて議論があった。ワーキンググループを設置して、より専門的に議論を行い、次回の本検討会に報告の上、年内を目処に策定することが了承された。
- (6) 本検討会は、年内を目途に、第2次報告書を取りまとめる予定としている。

(以 上)